

「三島スカイウォーク&芹沢銈介美術館他」

県央支部主催 バス見学会

県央支部 伊藤耕人

新規会員募集の意味と会員相互の交流のため上記見学会。当日は、各支部の皆様と新規お試し会員 2 名の方を含め締め切り人数ギリギリの 17 名（欠席含まず）のご参加を得て、一路バスは三島スカイウォークへ。現地は、大変な混雑でしたが、「揺らすな揺らすな」の声の中そろりそろりと約 400m の吊り橋を往復し富士山、駿河湾、伊豆の山々、の絶景を参加者一同堪能致しました。その後バスは芹沢銈介美術館へ。この美術館は、近代日本を代表する染色家芹沢銈介の作品を展示しており何よりこの建築は、孤高の建築家白井晟一的设计（1981 年）によるものです。その後バスは芹沢銈介美術館へ。の美術館は、近代日本を代表する染色家芹沢銈介の作品を展示しており何よりこの建築は、孤高の建築家白井晟一的设计（1981 年）によるものです。大好きな建築家で去年 6 月に白井晟一氏が 1955 年に計画した「原爆堂」を中心とした展覧会が大盛況のうちに終わりました。改めて白井晟一が対峙した近代への独自の視点が浮かび上がっています。益々この様な再評価の機運が高まることを一ファンとして願ってやみません。



また近接の登呂遺跡では火おこし等の体験もできて参加者一同大いに楽しみました。さて、楽しいことはすべからずアツという間に過ぎてしまいます。帰りのバスでは、和やかな講評会と近況の報告が行われました。ご参加頂いた皆様有難うございました。

